



NO. 95

2020年9月25日(金)

ゆめ 夢 通信

〒321-1263

日光市瀬川95番地1 (朝日町)

電話 0288 (21) 5330

FAX 0288 (21) 5388

ホームページ <http://npowave.jimdo.com/>

メールアドレス info@wave-i.org

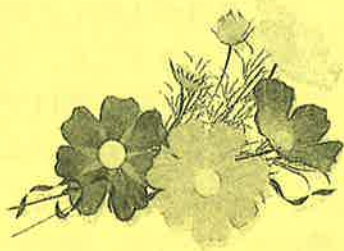
【事務所営業時間】 平日9時～18時

(認定NPO法人)

特定非営利

活動法人

ウェーブ



生きている花①

鈴木公一

「いいかい、よく聞くんだよ。造花のような花なんか彫っちゃだめだよ。活き活きと生きている花を彫るんだよ。」

と、明治生まれの大先輩は教えてくれた。

この言葉は今でも耳に残り、今でも日光彫りを続けて行く上での指針ともなっている。プロだからきつと上手な彫り師なのだろうという考えは正しくない。上手ではないプロだって存在するのである。

私が職業として日光彫りというものは人には理解されにくい職業といってもよからう。ラーメン屋さんとか、すし屋さんなら食べてみればすぐに判るので張り合いがある。ところが日光彫りは上手なのだから下手なのだがちよつと解らないところがあるので、上手ではないプロがプロとして世の中を渡って行けるところともなっているのである。

プロの日光彫師にとって大切なことが二つある。ひとつは彫りが上手であること、もうひとつは彫り上がるまでの時間が速いことの二点である。日光彫りをお買いになるお客様にとって、二つ目の速いということとはさして重要ではない。お客様は出来上がり、つまり結果を買ってくださる人なので、速いか遅いかなどはどうでも良いのである。

※本随筆は『ある日光彫師のひとりごと』
(平成十一年発行) から転載しております。

「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが、厳しい残暑も和らいで過ごしやすい季節になってきました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

今回はウェーブ創立25周年の文章を担当する理事長に代わり、私、吉成があいさつさせていただきます。今まで10年以上デイサービスで勤務してきましたが、9月からケアマネージャーとして働くことになりましたので、よろしくお願ひ致します。

敬老の日に国内の100歳以上の高齢者の人数が8万人を超えた等と報道されていました。そのニュースの中で私の印象に残ったのは、健康で長生きするには、仕事であったり、ボランティアであったり、趣味であったりとその人それぞれの生きがい・役割を持つ事が大切という部分でした。実際、ケアマネとしてはご本人の意向を聞き取ることに四苦八苦している有り様ですが、ご本人が今までどのように生きてきて、今後どうしたいのか、日常生活で一番大事にしている事など、ご本人の事を深く知り、出来ないことを補うだけでなく、ご本人が持っている能力、意欲を活かせるようなケアプランが作成できればと改めて思いました。先輩ケアマネの力もお借りしながら、皆さまのお役に立てる支援ができるように、日々精進して参ります。

副理事長 吉成 勇一